

山の恵みがたくさん！ 名産・おみやげ



山菜加工品
道の駅いひろせ、みのり館
などで販売

ホッケの押しずし



岩魚の押しずし



道の駅いひろせなどで販売



わら細工

道の駅いひろせなどで販売



手焼きせんべい
道の駅いひろせで販売



どぶろく

崑八：道の駅いひろせ
大白川：平石亭で販売



お米

道の駅いひろせ、みのり館
などで販売

入広瀬の昔話

あったてんがの

六地藏様

昔、心がけの良いお爺さんとお婆さんがいました。年の暮れになって、お正月の買物をするお金が無く困っていたところ、ちょうどお婆さんがクズマユの糸で織った反物があつたので、お爺さんは栃尾の町へ売りに行きました。しかし、町へ向かう途中、石峠の辺りで猛吹雪となったので、やむなく家へ戻ることにしました。やつと鏡が池までたどり着くと、そこには六地藏様がとても寒そうに立っておりました。お爺さんはお地藏様を気の毒に思い、持っていた反物を引き裂いて一人ひとりに巻いてあげ、帰路に着きました。その夜、お爺さんとお婆さんは外の騒がしさ目覚め、外を見てみると、お爺さんが反物を着せた同じ姿の六地藏様が重い包みを置いて帰るところでした。二人は驚き、包みをあげるとお爺さんが沢山入っておりました。お爺さんとお婆さんは「お地藏様、ありがとうございます」と帰って行かれた方角に手をあわせておがみました。

お宿

真心のおもてなし

ほのぼの気分のお宿でゆっくりおくつろぎください。



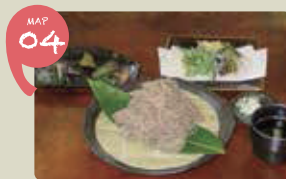
レストラン鏡ヶ池
時間：10時～16時
定休：年末年始
※冬期間は「道の駅いひろせ」にてお食事ができます
tel. 025-796-2727



居酒屋みよちゃん
時間：17時～22時
定休：日曜（臨時休業あり）
◎アットホームなお店です
tel. 025-796-3406



福寿庵
定休：月曜（臨時休業あり）
◎中華そばも有ります
tel. 025-796-2149



平石亭
時間：11時～15時
定休：月曜～金曜（土・日・祝は営業）
※冬期間休業
tel. 025-796-2236



大島
日本一の魚沼入広瀬産コシヒカリをたっぷりご賞味ください。
客室6室 収容人数22人
tel. 025-796-2168
fax. 025-796-2250



喜楽荘
浅草岳と守門岳の恵み。春は山菜、秋はきのこと料理が自慢です。
客室9室 収容人数50人
tel. 025-796-2731
fax. 025-796-2732



才七
山菜料理ときのご料理が自慢。各種合宿にもご利用ください。
客室10室 収容人数40人
tel. 025-796-2540
fax. 025-796-2563



やすば 休み場
山菜、きのこなど、季節の料理でおもてなしいたします。
客室8室 収容人数40人
tel. 025-796-2901
fax. 025-796-2914



とちをや旅館
笹ずし、山菜、天然きのご料理、手打ちそばもあります。
客室8室 収容人数50人
tel. 025-796-2514
fax. 025-796-2514



浅草山荘
新緑と紅葉の眺めが特別におすすめです。
客室16室 収容人数100人
tel. 025-796-2331
fax. 025-796-2260



音松荘
登山や溪流釣りに。山菜料理でおもてなしいたします。
客室13室 収容人数42人
tel. 025-796-2927
fax. 025-796-2927



おおくもさわ 大雲沢ヒュッテ
名物マタギ鍋、手打ちそば。登山や山野草に詳しいです。
客室6室 収容人数20人
tel. 025-796-3024
fax. 025-796-3024

川マス女房

昔、一人暮らしの男がいました。ある日、山の畑のアワ刈りから帰ってくると、家の前を見たこともない娘がしょんぼり立っておりました。娘は、「会津へ行くつもりで家を出たら晩方になったので、「一晩泊めてください」と言ったので、男は困りましたが家へ入れることにしました。次の朝、男が目覚めると、掃除や朝食の支度が済んでおりました。娘はその後も帰る様子もなく、自然と二人は夫婦になりました。しかし、男は高価でなかなか手に入らない川マスの卵が毎日食卓に出るのを不思議に思い、天井裏にかくれて見ていると、嫁は鍋の上にはしゃがんで小粒の卵を出し、野菜やご飯を入れて雑炊を作りました。男は驚き、次の日に別れを告げると、嫁は家を出て下川原の淵へ飛び込みました。水面には大きな川マスが浮かんできて、淵を周り深く潜っていききました。

鏡が池と女神伝説

昔、鏡が池周辺に池はなく、一帯が林でした。その林の中から清水が湧いており、旅人を癒していました。清水には美しい女神が住むようになり、鏡を出して自分の姿を毎日うつしていました。しかし、ある春の日、鏡を清水の中に落としてしまい、鏡は底深く沈んでしまいました。それから女神は自分の美しい姿と黒髪を池にうつすようになり、「ここから「鏡が池」と言うようになりました。この池に石を投げたり水を濁したりすると、女神が怒り、雨が降ると伝えられております。



MAP 13

六十里越

標高七百六十メートルの峠
ろくじゅうりこえ

国道252号線とJR只見線がトンネルで結ばれています。冬期間、豪雪のため閉鎖されています。国道は「六十里越雪割り街道」とも呼ばれています。



MAP 14

只見線

絶景秘境路線

小出駅～会津若松駅間の約135kmを運行するJR東日本の鉄道路線。沿線の紅葉や雪景色等が美しく全国屈指の景観を持つローカル線として知られています。（平成23年年7月の新潟・福島豪雨により只見～会津川口駅間は代替バス運転）